



岩見沢市



平成28年の入会式

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体
北海道岩見沢農業高等学校 食品科学科「岩農食農塾」
【岩見沢市】

高校生が先生！「楽しく」「学べる」食育事業

はじまりは？

食品科学科では、原料生産から加工について学んでいます。学んだことを地域の子供たちに還元したいと平成24年度からはじめました。

食育は、食を理解し健全な食生活を実践する人間の育成につながるものです。生徒が普段の学習の成果を活かし、「食」の大切さ、農業の大変さ、命の大切さを伝えることを目的にしています。

「岩農食農塾」は食品科学科肉製品製造専攻班食育グループの2年生と3年生が担当しています。

おもな活動

「岩農食農塾」は4月から10月の期間に10回開催しています。期間をとおして水稻の栽培を行っており、播種育苗、田植え、間に生育調査、秋に稲刈り、脱穀、精米までほぼ手作業で行い、最後に試食を行います。水稻の学習の他に、パン、ウインナー、アイスクリーム作りなどの加工実習や市内の農業者と連携して宿泊学習も行っています。塾の講師は生徒達が輪番制で担当し、テキストの作成や小学生への講義を行っています。生徒は地域の農業者や行政の担当者などを講師に迎え、小学生に教える前に事前学習をしています。小学生は、最後に一人ずつ学んだことを模造紙にまとめ、成果発表を行い、締めくくります。



田植えの様子

ここが自慢

【高校生が自ら学び教える食育】

小学生に教えるためには、まず自分たちが再度理解を深め、新たな知識を得ることを実践しています。また、「伝えることの難しさ」を経験することで、生徒達は、改善し、様々な工夫を取り入れています。

実践だけでなく、その後の検証もしっかり行い、「岩農食農塾」のあり方、進め方も生徒達が自主的に決め、活動を進めています。



実習前の講義（左）と実習終了後の清掃の様子（右）



連絡先

代表者名：校長 西田 丈夫／設立：2012年／会員：9名

住 所：岩見沢市並木町1番地5

電話番号：0126-22-0130
 (担当：食品科学科 教諭 松本 賢さん)

F A X：0126-22-5362

E-mail：matsuken1031@hokkaido-c.ed.jp

U R L：https://www.gannou.ed.jp/